

めんもくやくじょ  
**「はたらく」定時制生徒の面目躍如** ~第 50 回県農祭~

教頭 藤本 哲也

1 万人近い来場者で大いに賑わった平成 29 年度第 50 回県農祭。定時制生徒の活動状況に着目した場合、私の本校着任後 6 年間で最高の県農祭であった。以下、理由等を記す。

県農祭は“オール県農”態勢で臨む行事ではあるが、多分に全日制の「収穫感謝祭」的要素が強い。現に来場者の大半は全日制生徒が育てた農産物とその加工品等の購入が主目的であり、正門からの人の流れがそれをはっきりと物語っている。そのような状況下において、どうすれば定時制の生徒が時間をもてあますことなく、積極的に行事に参加できるのかが積年の懸案だった。

光明 (= 希望や解決の糸口) を見いだしたのが、昨年度の第 2 学年・第 3 学年の取組(「バルーンプール」・「一緒に作ろう 消しゴムハンコ&スライム」) だった。無邪気な笑顔と真剣な眼差しの子どもたちが会場に満ち、対応する生徒の表情には優しさがにじみ出ていた。

県農祭は毎年 11 月 23 日、勤労感謝の日で開催される。定時制生徒の約 8 割が仕事(アルバイトを含む)に励んでいる。「働く」という言葉は、「傍 (= 周囲にいる人、他人) を楽にする」から来ていると言われる。語呂合わせだろうが、必ずしも外的外れではあるまい。

周囲の人を楽しく幸せにすることが「働く」本来の意味だとすれば、今回の県農祭で生徒のみなさんが見せてくれた「はたらく」姿は実にさわやかで、輝いていた。来場者を真っ先に歓迎した第 1 学年「モザイク壁画」、子どもたちを熱中させた第 2 学年「ものづくり体験教室」と第 4 学年「うちわ作り」、子どもたちをワクワクドキドキさせた第 3 学年「おぼけ迷路」。その場に居合わせた人たちは、子どもも大人(保護者)も皆、楽しそうだった。そして、「満面に笑みをたたえて活躍するみなさんを見つめる」定時制の先生方もまた、例外なくうれしそうだった。



【 4 学年「うちわ作り」の一場面 】

これらは、学業と仕事の両立を目指し、日頃から「働く」ことで「傍を楽に」してきたみなさんが、昨年度県農祭の成功体験を全学年で継承、発展させ、「傍を楽しく幸せに」してくれた結果である。定時制生徒の面目躍如 (= その人本来の姿が生き生きと現れているさま) だ。企画段階から自主的・主体的に考え、友人と議論し、協働 (= 目標を共有し、ともに力を合わせて活動すること) したみなさん、立派にやり遂げたみなさんを、心から称賛する。

創立 120 周年記念式典での T P O をわきまえた言動に続いての、県農祭の大成功！みなさん一人一人の頑張りにより、県農定時制は着実に進化・向上・レベルアップしている。

■ 第 50 回県農祭開催

11 月 23 日(木)に第 50 回県農祭を行いました。各学年とも、創意工夫を凝らした内容でした。各会場は笑顔あふれる大盛況でした。

第 1 学年「モザイク壁画」



第 2 学年「ものづくり体験」



第 3 学年「迷路」



第 4 学年「スタンプラリーでうちわをつくろう」



生徒作品展：書道(授業)



華道部



美術愛好会



■ 神戸マラソン・ボランティア参加

11 月 19 日(日)第 7 回神戸マラソンが開催されました。本校からは 35 人の生徒がランナーに給水活動を行うボランティアとして参加しました。

2 万人を超えるランナーへの給水活動は大変でしたが、その疲れよりも充実感にあふれた活動となりました。



部活動の主な結果

■ 近畿高等学校定時制通信制課程体育大会

卓球部 (11 月 24 日 尼崎市ベイコム総合体育館)

女子団体 第 3 位

女子個人 2 回戦敗退

バドミントン部 (11 月 11 日 神戸市立中央体育館)

女子団体 2 回戦敗退

女子個人 2 回戦敗退